

GUブロック 中央分離帯TYPE NETIS

NETIS登録番号：KT-160028-VE



中央分離帯タイプ「固定式」

特長・ポイント

可動式の上部ブロックを活用し中央分離帯をフルプレキャスト化しました。

<p>従来工法 中央分離帯</p>		<ul style="list-style-type: none"> × 作業工程が多い × 除草の維持管理費が必要 × 舗装の修繕や再設置には中央分離帯ごと解体し再設置しなければならない
<p>GUブロック 中央分離帯 固定式</p>	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>可動式タイプと同じ連結技術で 強固に一体化可能です！</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◎置くだけ簡単設置で 工期短縮・規制時間短縮！ ◎除草の維持管理費を削減 ◎ブロックの重量があるので アスファルト舗装時 大型車（タンデムローラー等）が 接近・接触してもズレにくい ◎舗装の修繕や再設置には ブロックを外し 再利用することができる

施工事例

国道16号 八王子地内



擁壁

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

張出

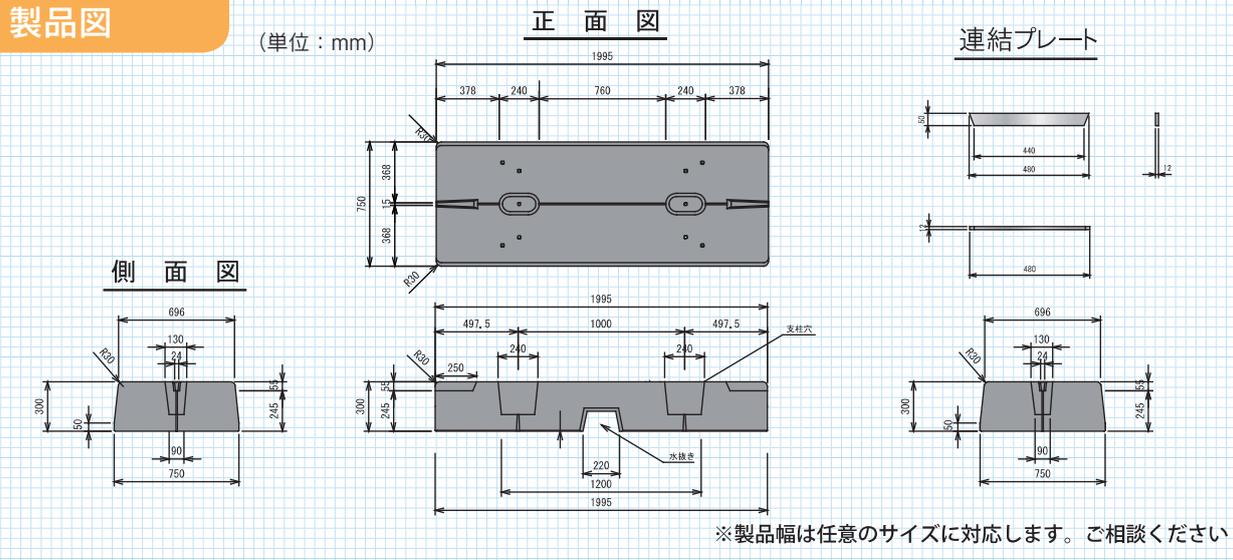
地中線

太陽光関連

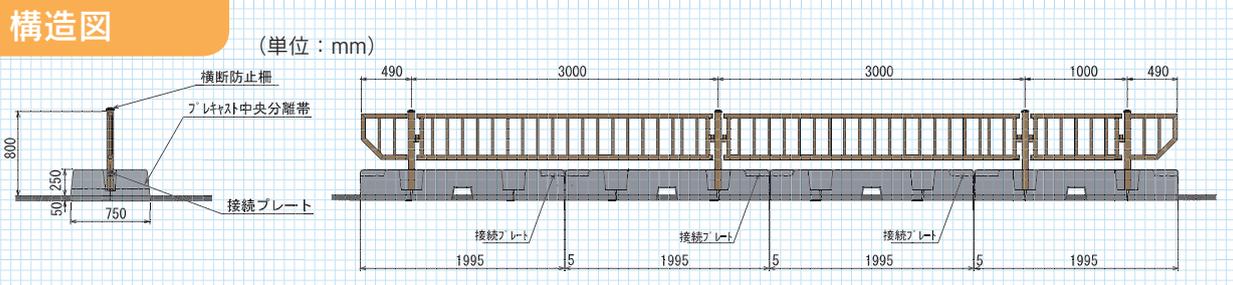
防災・減災・復旧

工法・その他

製品図

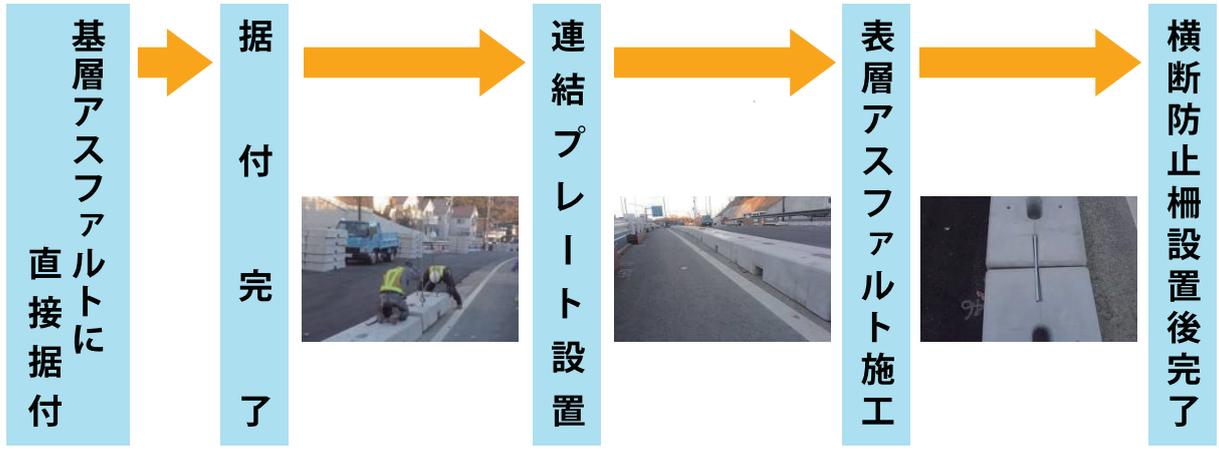


構造図



施工手順

中央分離帯タイプ「固定式」



施工実例

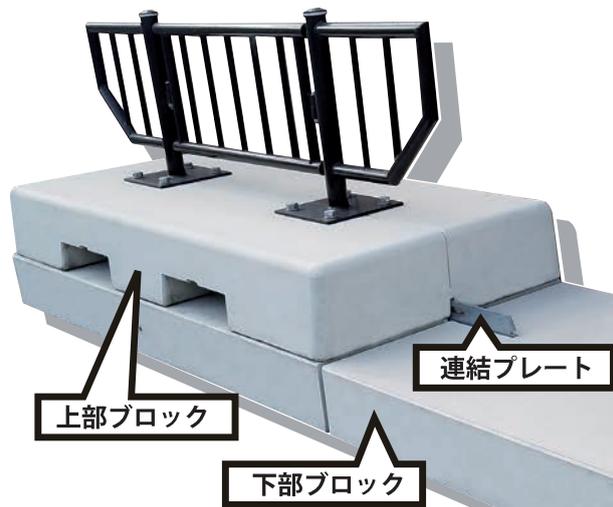


【固定式】 国道16号線 八王子市内

中央分離帯タイプ「可動式」

特長・ポイント

中央分離帯を上下2分割することで車道の上下りの行き来を可能にできます。



中央分離帯を撤去した実例



写真：東京スタジアム（味の素スタジアム）前

事故や災害発生時の緊急時に

歩行者天国等道路の会場利用に

01

上部ブロックの撤去・再設置が素早く行える

02

ブロックの移動はクレーン以外にフォークリフト、ハンドリフターで可能

03

クレーン作業でのワイヤー、ベルトリング用の溝をズレ防止に設けている

04

フォークリフト用の挿入口は排水口の役目も

05

横断防止柵はプレート式でボルト固定に

06

柵ごと移動できるので上部ブロックのみを仮設柵にできる

道路線形変更イメージ図



擁壁

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

張出

地中線

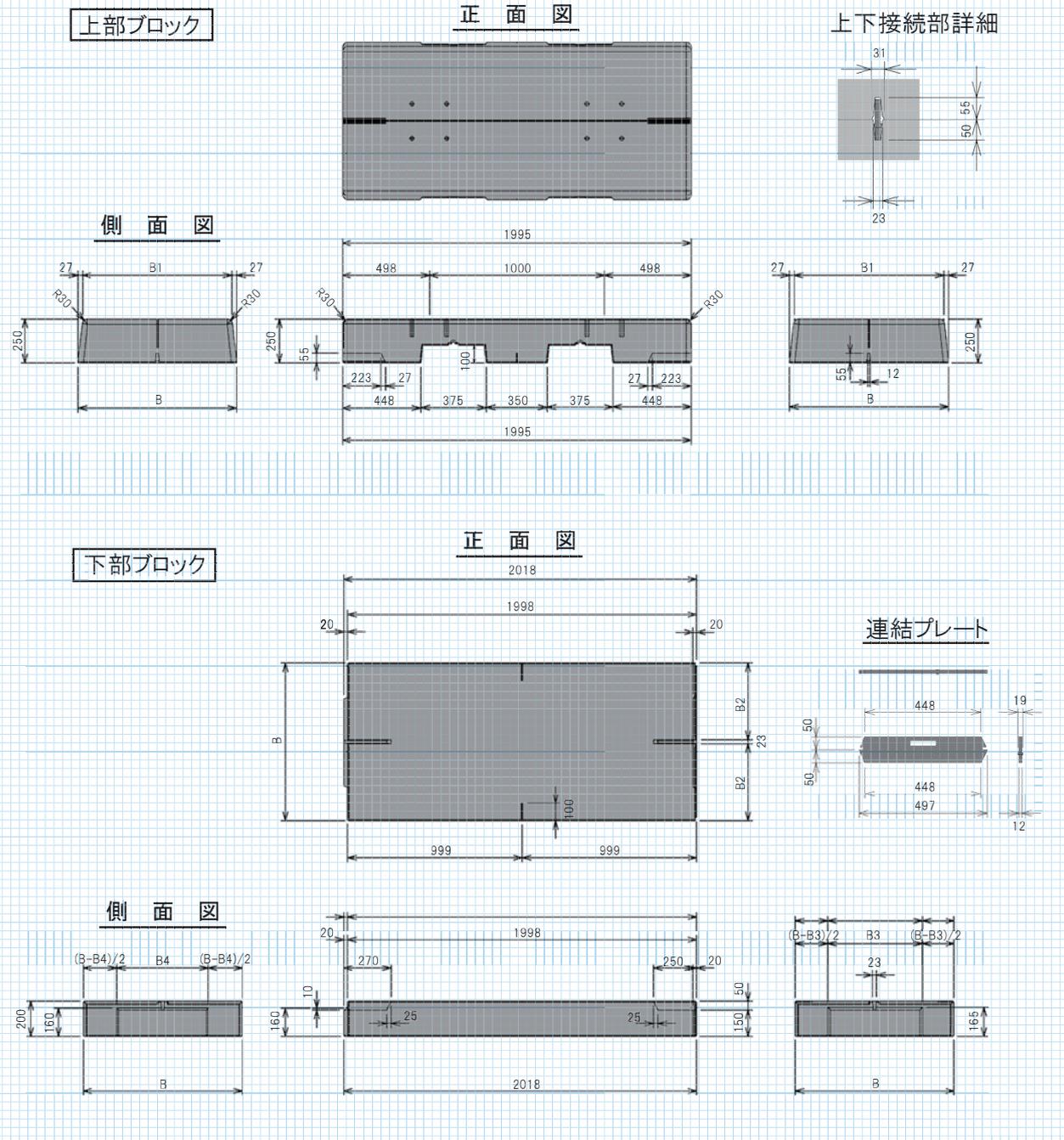
太陽光関連

防災・減災・復旧

工法・その他

製品図

(単位：mm)

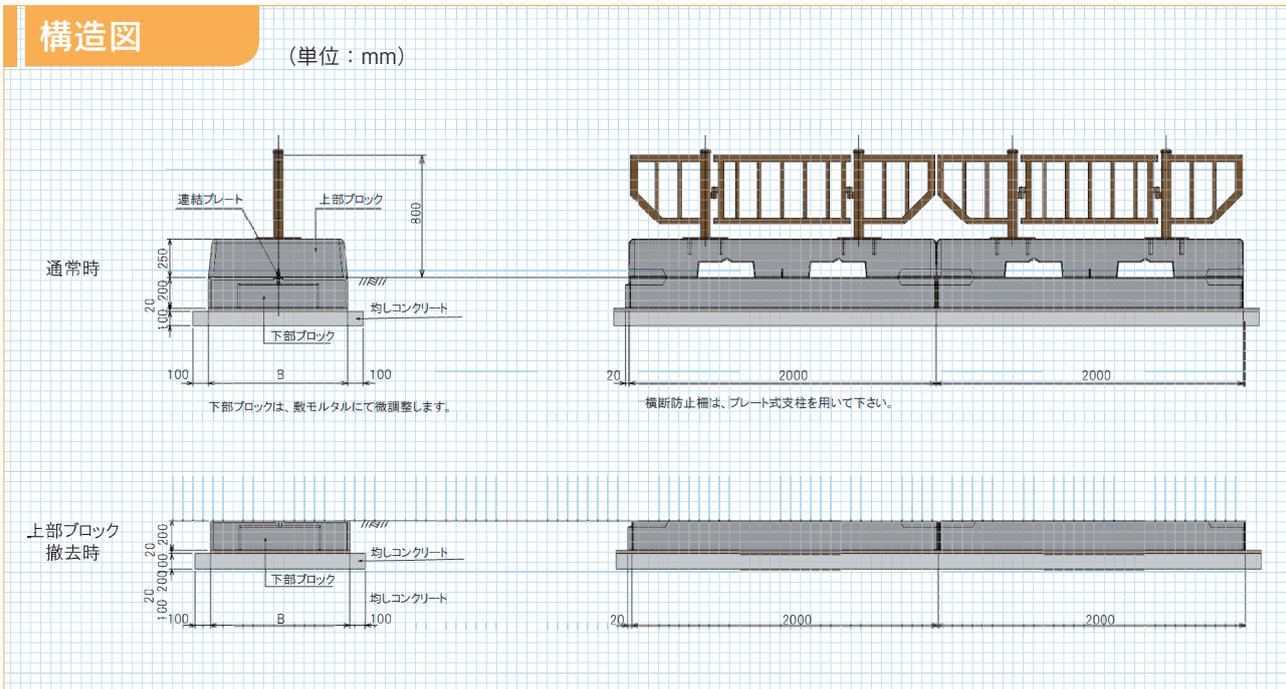


呼び名		寸法(mm)					参考重量(kg)
		B	B1	B2	B3	B4	
上部ブロック	0.750m	750	696	—	—	—	720
	0.909m	909	855	—	—	—	870
	1.000m	1000	946	—	—	—	960
	1.250m	1250	1196	—	—	—	1,210
下部ブロック	0.750m	750	—	364	490	470	700
	0.909m	909	—	443	540	520	850
	1.000m	1000	—	489	540	520	930
	1.250m	1250	—	614	790	770	1,170

※B寸法は任意のサイズに対応します。
 ※寸法・形状について予告無く変更することがあります。

構造図

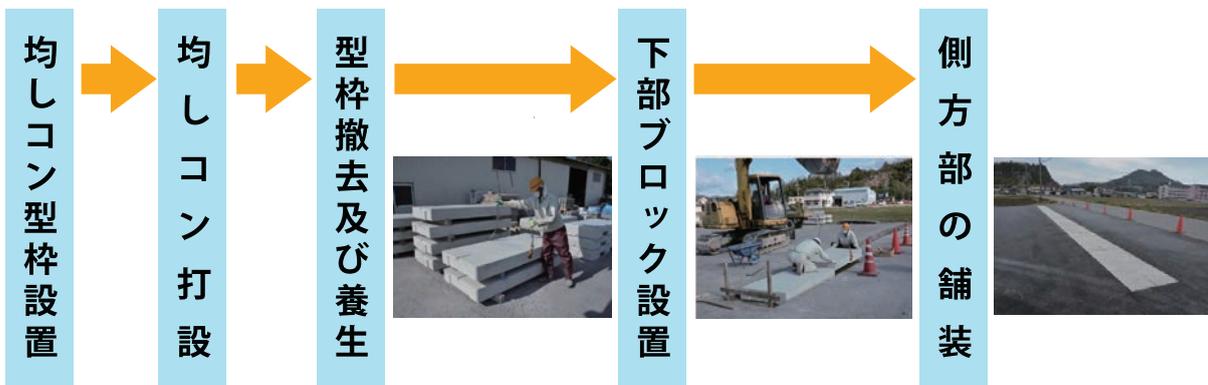
(単位：mm)



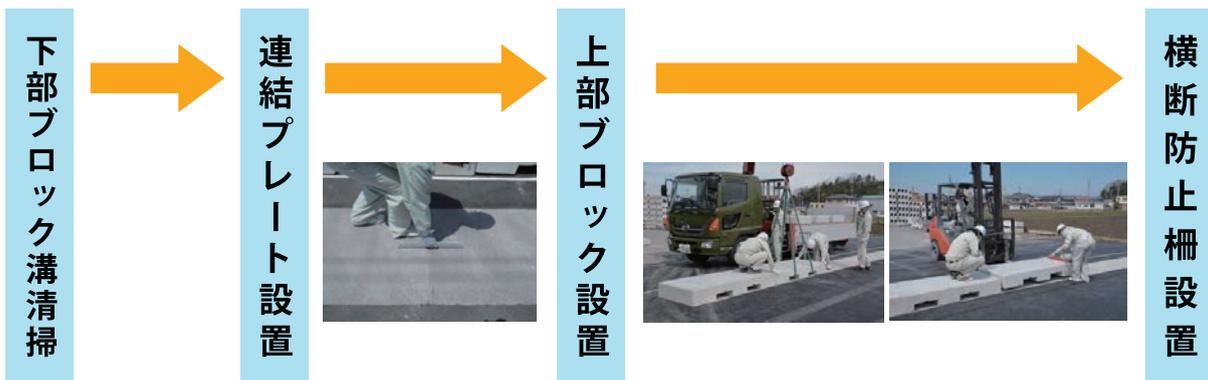
施工手順

中央分離帯タイプ「可動式」

【下部ブロック】



【上部ブロック】



擁壁

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

張出

地中線

太陽光関連

防災・減災・復旧

工法・その他

可動式参考歩掛

■新設_下部ブロック 日当たり施工量 L=70m

名称	品 種	形状寸法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
GUブロック	中央分離帯タイプ	下部ブロック L = 2000	50.00	個			
据付工	土木一般世話役		1.43	人			
	ブロック工		1.43	人			
	普通作業員		2.86	人			
	バックホウ運転	クレーン機能付き 山積み 0.45m ³ 吊能力 2.9t	1.43	日			
	諸雑費		9.00	%			
基礎コンクリート	18-8-25BB		11.09	m ³			
型枠工	均し基礎		20.00	m ²			
基礎材	t = 10cm	RC-40	110.90	m ²			
合 計							

■新設_上部ブロック 日当たり施工量 L=175m

名称	品 種	形状寸法	数 量	単 位	単 価
GUブロック	中央分離帯タイプ	上部ブロック L = 2000	50.00	個	
		上下接続プレート	50.00	枚	
据付工	土木一般世話役		0.57	人	
	ブロック工		0.57	人	
	普通作業員		1.14	人	
	フォークリフト運転	2.0t	0.57	日	
	諸雑費		17.00	%	
横断防止策工		PLD-NC-B (トク)	100.00	m	
合 計					

■上部ブロック 撤去 日当たり施工量 L=290m

100m当り

名称	品 種	形状寸法	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
据付工	土木一般世話役		0.34	人			
	ブロック工		0.34	人			
	普通作業員		0.69	人			
	フォークリフト運転	2.0t	0.34	日			
	諸雑費		17.00	%			
合 計							

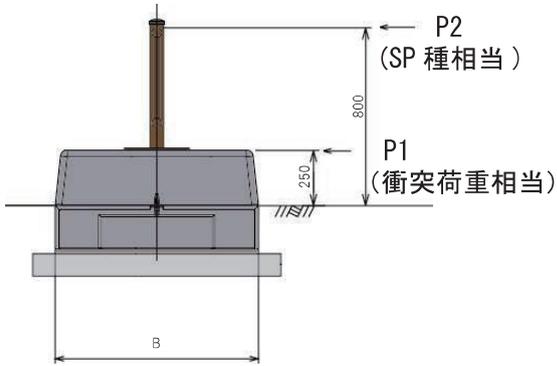
■上部ブロック 再設置 日当たり施工量 L=175m

名称	品 種	形状寸法	数 量	単 位	単 価
据付工	土木一般世話役		0.57	人	
	ブロック工		0.57	人	
	普通作業員		1.14	人	
	フォークリフト運転	2.0t	0.57	日	
	諸雑費		17.00	%	
合 計					

参考歩掛り メーカー歩掛りです。

耐力結果

基本的に下部ブロックは、埋設されており連続した帯状の構造体であること、隣接する車道部はアスファルト及び入念に締固められた路盤材であることから剛体として考えられます。



上部ブロックに作用する P1 荷重は、**30kN** を設定しています。
連結プレートにより上部ブロックを拘束します。



耐荷重試験状況

ブロック上部 H=25cm の高さにて水平力を加えた場合の変位と荷重を計測しました。
48kN の荷重に対して水平方向に最大 8mm の変位のみでした。

中央分離帯の中央に設置する柵は、
横断防止柵を基本とします。
P2 の水平荷重は **p 種相当 (0.39kN/m)** を
設定しています。

横断防止柵 H=80cm の高さにて水平力を加えた場合の
浮き上がりが発生する荷重をロードセルにて
計測しました。3 回実施し結果は、
①3.95kN ②3.45kN ③5.5kN でした。

※製品 1 本 2m 当りの値

施工事例



【可動式】 国道20号線 味の素スタジアム前

擁壁

河川・環境

道路

水路

防火水槽

上下水道

張出

地中線

太陽光関連

防災・減災・復旧

工法・その他